

こども“ど”まんなか

もっと家康公“ど”まんなかプロジェクトについては、
2ページをご覧ください。



徳川家康公は、子宝に恵まれ、「子育てにおける17条の教訓」を作るなど、わが子のことを考え、大切に子育てをしたといわれています。こうした家康公の考えに習い、もっと家康公“ど”まんなかプロジェクトの1つの将来像として「健やかで心豊かな生活が継続して営まれ、子ども・家族・地域が支えあい、共に成長する」ことを目指し、子育て支援に取り組んでいます。

プロジェクトでは、今年度、新たな取組として「おかざきこども会議」を開催します。こどもたちは将来の担い手であるとともに、大人と同じ今を生きる市民です。こどもたちの意見をしっかりと聴き、施策に反映していくことで、こどもたちにとっても暮らしやすい社会づくりをするとともに、地域への愛着が育まれることを目指していきます。

また、パパの子育ての助けになれるように岡崎のパパの声を反映した本市独自の「パパって最高！岡崎市版父子手帳」を2月から配布しています。パパに知ってほしい育児休業制度や産後ママのことなど、ママも含めた家族全員の幸せを目指した内容です。ぜひご活用ください。

今後もこども施策を市政の中心に据えて、こども“ど”まんなかで取り組んでいきます。

※おかざきこども会議などの詳細は、P4特集ページをご覧ください。



岡崎市長
中根 康浩